



## 連携支援だより 2号

浦舟特別支援学校は、横浜市立では唯一の病弱特別支援学校です。

さて、本校では7月に特別支援教育総合センターとの協賛で第一回専門研修会として横浜市立大学附属市民総合医療センターから精神医療センター部長の高橋雄一先生をお招きし、「思春期のこころの病気と対応」をテーマにご講演いただきました。今回、その内容を紹介したいと思います。

### 1) 横浜市立大学附属病院 児童精神科の紹介

市大センター病院の児童精神科のホームページの中にある『親子のこころのとまり木』というサイト、初期診療が受けられる診療機関の紹介（「子どもの心の診療機関のマップ」で検索）

### 2) 精神疾患の考え方 大きく3つの原因が考えられる。

#### ①生来的・パーソナリティの問題

神経発達症…知的能力障害、自閉スペクトラム症、注意欠陥多動症、限局性学習症、チック症  
パーソナリティ障害

#### ②後天的な問題

外因性（身体疾患〈甲状腺や膠原病のステロイドの服用など〉、脳の障害による精神疾患等）  
内因性（統合失調症、双極性障害、うつ病等）  
心因性（不安症、強迫症、適応障害、解離性、身体症状症、摂食障害等）

#### ③複数の問題の合併

\*精神疾患は発症に関し、素因（ストレス耐性：器質的なもの・生物学的なもの）と、心因（ストレスの強度・時間）と環境因（家庭・学校・経済・社会）が関係していること。

### 3) 思春期にみられる「抑うつ」…「抑うつ」とは感情面、意欲面、思考面、身体面に諸症状

#### ○「抑うつ状態」≠「うつ病」

- ・「抑うつ状態」は様々な原因で起こりうる。
- ・身体疾患、統合失調症、双極性障害、発達障害児の不適應、不登校を呈する不安症、虐待などを背景とするストレス障害、摂食障害など。

#### ○思春期の「抑うつ状態」による行動上の問題の例

- ・ゲームやスマホに没頭して自宅に引きこもる。
- ・飲酒、喫煙、薬物乱用
- ・自傷行為、自殺企図、暴力 等

### 4) 思春期にみられる「精神病症状」

- ・幻聴体験や幻視体験は、思春期までにおよそ10%の子どもたちが経験し、多くはその時の精神不調に左右されて出現し、不調が解消すれば数年以内に消失する。
- ・そのうちの一部は「統合失調症」などの精神病性障害へ展開
- ・精神病症状はストレスで憎悪する。
- ・一般的に少なくとも3～5年間はしっかりと治療支援が継続されることが良好な経過へとつながる。

### ☆学校でできる「精神病症状」への対処の仕方

- \*家庭・学校のストレス軽減に取り組む。
- \*精神病状態と自殺のリスクの関係を知る。
- \*危機的状態の時は医療受診を優先させる。
- \*医療と連携し、本人・家族の支援を模索する。
- \*学校内の偏見解消（精神保健教育）に日常的に取り組む。

### ☆子どものこころの問題に対応する際の留意点として

- \*医学的判断だけでは病気の背景や子どもや家族の苦悩を読み取れない。
- \*個々の子どもの症状や意味や背景を理解することが重要。
- \*原因や症状の除去にとらわれず、子どもの生活を支える体制づくりが有効。
- \*子どもを取りまくさまざまな人びとが協力して、支援を継続することが重要。

講演のなかで「目立つケースだけでなく、沈黙している子どもに目を向ける」という言葉が特に印象に残りました。

SOS を発信するのが苦手な子どもの表情やしぐさ、いつもと違う何か、またいつも見せている何かに敏感に気づけるようでありたいということ、多職種の連携機関の大切さを改めて感じました。



## 研修会のお知らせ

☆YCAN 受講システムで受付中！

第2回	11月30日(金)	15:30~16:45	本校研修室
-----	-----------	-------------	-------

「チャイルドライフスペシャリストから見た子どもの課題」

～病気をもつ子どもの課題と様々な連携について～

講師：済生会横浜市東部病院 こどもセンター

チャイルドライフスペシャリスト 井上 絵未氏

第3回	2月6日(水)	15:30~16:45	南公会堂
-----	---------	-------------	------

「病弱教育と医療のこれからの在り方」

～子どもとの関わりの中での様々な課題～

講師：昭和大学大学院 保健医療学研究科 准教授 副島 賢和氏

(昭和大学病院内さいかち学級の先生です。ドラマ「赤鼻のセンセイ」のモデルです。)

病気などが理由で、市内の病院に入院しているお子さん、登校ができていても病気に対する配慮が必要なお子さんについて、教育相談を受け付けています。

学校からだけでなく保護者からの教育相談も受け付けています。

そのような場合はぜひ、保護者にご紹介ください。

担当：浦舟特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 荻野 TEL243-2624

\*お手数ですが貴校の全職員にご回覧ください。